

## 『産業カウンセラー等の実態調査』詳報：(その7)

### 「産業カウンセラー」資格のみの人と「シニア産業カウンセラー」資格等を持つ人の違いは……？

今回は質問1の取得資格についての回答から、協会認定資格としては『産業カウンセラー』のみを取得している人（以下「産業カウンセラーのみ」と略す）と『シニア産業カウンセラー』のみ、もしくは他の協会認定資格を併せて取得している人（以下「シニア産業カウンセラー等」と略す）の違いを見てみましょう。ちなみに、「産業カウンセラーのみ」の人は10,273人（未取得者、無回答者を除いた14,346人中の71.6%）、「シニア産業カウンセラー等」792人（同5.5%）でした。

#### 1. どのような属性の人なのか？

まず、「産業カウンセラーのみ」と「シニア産業カウンセラー等」が、どのような属性の人なのかを比べて見てみます。

就労（雇用）の形態（質問23）では、「産業カウンセラーのみ」では『正社員（常勤雇用者）』が51.3%と半数を占め、以下『契約社員』10.1%、『パート、アルバイト』7.1%と、10%以下になっています。他方「シニア産業カウンセラー等」は『正社員』36.7%、『契約社員』15.0%、『経営者』12.6%、『非常勤（顧問など）』11.4%の順で、『契約社員』や『非常勤』の人の比重が大きいです。これは次の職種で見るように「シニア産業カウンセラー等」の方が『カウンセラー』などの専門職に就いている割合が高く、その人たちは『契約社員』や『非常勤』が多いことの反映でし

よう。

次に職種（質問24（4））について、相対的に多い職種を「産業カウンセラーのみ」対「シニア産業カウンセラー等」の比率で見ると、『カウンセラー（キャリア・コンサルタントを含む）』では11.7%：35.7%と「シニア産業カウンセラー等」のほうが3倍多く、逆に『保健・看護職』では14.3%：8.0%、『一般事務職』では18.4%：11.1%と「産業カウンセラーのみ」の方が多くなっています。『管理職』は両方とも同率の10.9%でした。

『保健・看護職』で「産業カウンセラーのみ」が多いのはおそらく国家資格に伴う業務がメインで、その補完的な意味で産業カウンセラー資格を取得されたものと思われる。

取得しているカウンセリング関連資格（質問1：該当するもの全て選択）をみると「産業カウンセラーのみ」の人は他には『（他団体認定）キ

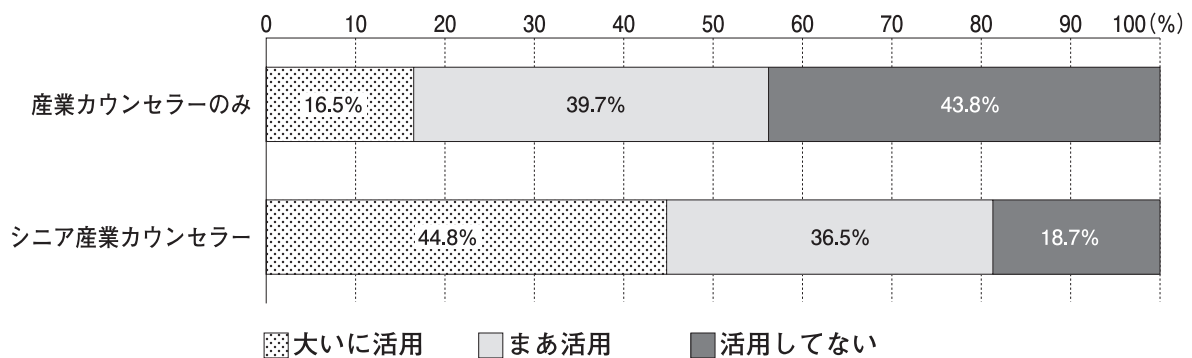


図1 活用の程度

キャリアコンサルタント』が6.5%で最も多く、その他の資格はそれ以下の率になります。関連して「産業カウンセラー」資格取得の動機（質問4：3つ以内選択）をみると、『心理学やカウンセリング（キャリアカウンセリングを含む）の勉強をしたかったから』が最も多く47.3%、次が『心の問題（キャリア問題を含む）を抱えた人を広く援助したかったから』の37.1%で、明確に「職業」とする目的は希薄なようです。

他方「シニア産業カウンセラー等」では、『産業カウンセラー』取得が90.0%は当然として、他に『（協会認定）キャリアコンサルタント』58.7%、『（他団体認定）キャリアコンサルタント』9.0%、『臨床心理士』7.6%など多種の資格に渡っています。その資格取得の理由では、『カウンセラー（キャリアコンサルタントを含む）としてのレベルアップをしたかったから』が最も多く59.1%と6割を占め、次が『自分自身の生きがい、ライフワークとしたかった』で30.6%となっており、前向きな意欲が伺えます。

## 2. スキルをどの程度活かしているのか？

それでは次に、培ったスキルをどの程度活かしているか（質問9）を見てみましょう。

活用の程度に関する回答項目は、『大いに活か

して「活動」している』『まあ活用して「活動」している』『ほとんど活かして「活動」していない』の3つでしたが、それぞれの選択率を見てみると、「産業カウンセラーのみ」では16.5%：39.7%：43.8%で『ほとんど活かして「活動」していない』が最も多く4割を超えています。他方「シニア産業カウンセラー等」では44.8%：36.5%：18.7%となり『大いに活かして「活動」している』が最も多いという逆の結果になりました。（図1）

この『ほとんど活かして「活動」していない』理由（質問10：3つ以内選択）の選択率を「産業カウンセラーのみ」対「シニア産業カウンセラー等」で見ると、『「活動」したくても現実にその機会や場がないから』が49.4%：46.9%、『勤務先での現在の担当職務では「活動」とは関係が薄いから』が42.6%：36.4%、『技能や経験が不足していて自信がないから』が25.8%：16.8%と、「産業カウンセラーのみ」の人の方が3～9%多くなっています。（図2）

「産業カウンセラーのみ」の人で資格を活かせないのは、活用できる環境がなく、どう活用すればよいか分からないし、自信もないということのようです。

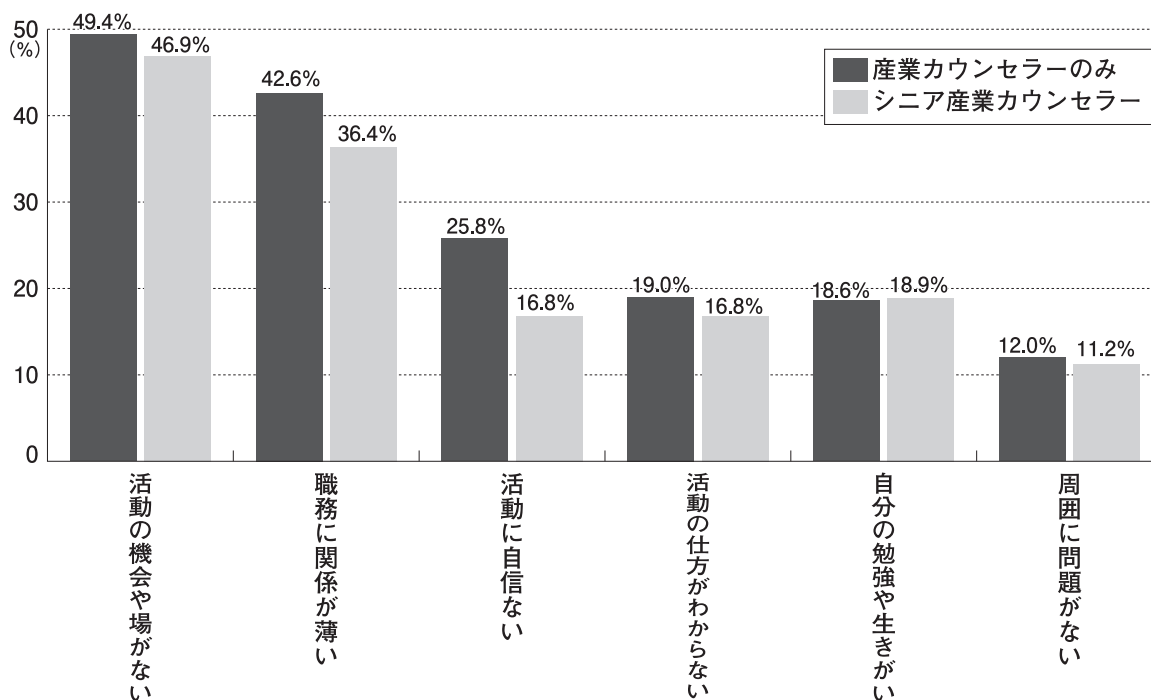


図2 「資格」取得により培ったスキルを活用していない理由

### 3. 活動の「場」と「内容」は？

では質問9で『大いに活かして「活動」している』『まあ活用して「活動」している』と答えた方はどのような場所で活動（質問11：3つ以内選択）しているのでしょうか。

「産業カウンセラーのみ」の人は、『一般企業内の相談室以外の職場（オフィス、会議室など）で』が最も多く23.1%、次が『自宅、相手宅、喫茶店などプライベートな場所で』18.8%、『一般企業内の相談室で』15.0%となっています。他方「シニア産業カウンセラー等」の人は、『日本産業カウンセラー協会の相談室や講座、事務所で』が最も多く26.2%、『一般企業内の相談室で』26.0%、『官公庁・自治体の相談室で（ハローワークは除く）』18.2%となっています。

その内容（質問13：5つ以内選択）はどうでしょう。これも両者の間にかなり違いが見られます。

「産業カウンセラーのみ」の人は、『メンタルヘルス・ケアの個人面接』が45.6%と最も多いのですが、以下は『自分自身の生き方の見直し、自己

啓発』35.9%、『職場の同僚などとの対人関係向上』27.1%、『職場外の友人や家族との対人関係向上』23.9%、『職場の部下の指導や管理』21.5%など非公式な身近な範囲での活動が続きます。

他方「シニア産業カウンセラー等」の人は、『メンタルヘルス・ケアの個人面接』が65.6%で最も多く、「産業カウンセラーのみ」の人よりも20%も多くなっていますし、以下『メンタルヘルス・ケアの教育研修講師』46.3%、『キャリアカウンセリングの個人面接』37.1%、『職場復帰支援』30.4%、など専門的活動が続き、『自分自身の生き方の見直し、自己啓発』は22.8%でした。（図3）

活動の場所でも内容でも「シニア産業カウンセラー等」の人のほうがカウンセリング業務に近いところで活動していることが伺えます。

### 4. 身につけたい特性は？

前述の2. 3. に関連して産業カウンセラーとしてどのような特性を身につけたい（質問16：3つ以内選択）と思っているのでしょうか。

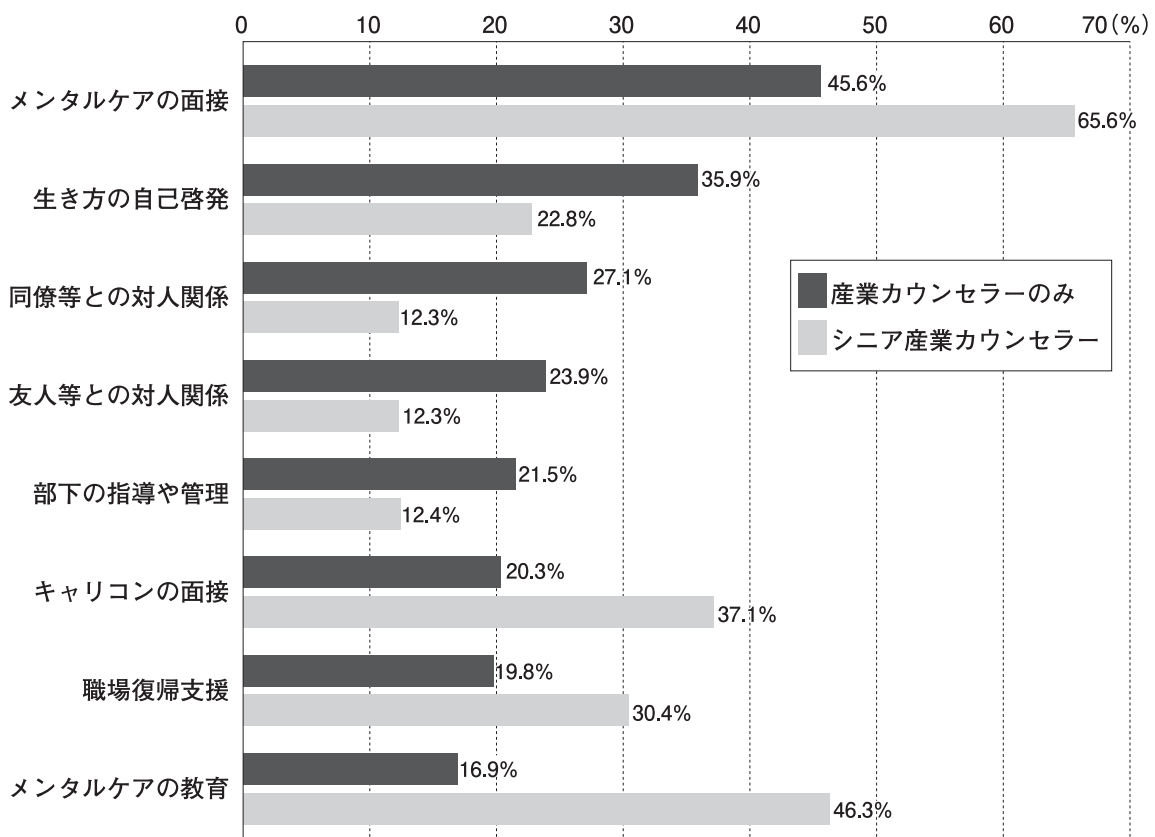


図3 活動内容の内訳

「産業カウンセラーのみ」の人で最も多かったのは『カウンセリング関連技能(スキル)』で66.5%、以下『カウンセリング専門知識』43.9%、『自分についての認識』34.5%、『経験』33.3%、『ものの見方・考え方』29.2%となっており、スキル向上への希望のほか、自分自身の成長への関心が高いようです。

他方「シニア産業カウンセラー等」では『カウンセリング関連技能(スキル)』59.8%、『カウンセリング専門知識』49.7%の2つは「産業カウンセラーのみ」と同じですが、次に『経験』39.7%、『マネジメント力』35.1%、『カウンセリング関連知識』26.0%が続き、より実践的な特性の希望が強いようです。

### 5. スキル維持・向上のための活動は？

前述の4.に関連してスキル維持・向上のために、どのような活動（質問17：3つ以内選択）をしているのでしょうか。

「産業カウンセラーのみ」の人で最も多かったのは『勤務先の日常業務のなかでの意識的な活動の経験』で29.2%、以下『協会が企画する講義、実習、演習の受講』27.2%、『個人学習・自己啓発』25.9%、『他の団体が企画する講義、実習、演習の受講』24.6%、『とくにやっていない』18.7%

となっています。

他方「シニア産業カウンセラー等」では『協会が企画する講義、実習、演習の受講』39.0%が最も多く、以下『他の団体が企画する講義、実習、演習の受講』32.5%、『カウンセラー、コンサルタント、ファシリテーターの経験』24.1%、『協会が企画する講義、実習、演習の講師または指導者の経験』21.0%、『勤務先の日常業務のなかでの意識的な活動の経験』19.9%と続きます。（図4）

この結果からは、「産業カウンセラーのみ」の人は、日常の体験や個人学習から、「シニア産業カウンセラー等」の人は、講習やカウンセラー経験から学ぼうとする傾向が見られます。「産業カウンセラーのみ」の人で『とくにやっていない』と答えた人が2割近くいることも、産業カウンセリング活動への姿勢の違いを表しているようです。

（文責：渡邊 忠）

今回は、「資格登録」をしている人（会員）と、していない人（非会員）の比較をしてみます。

お読みになってのご意見、ご感想を下記アドレスにお寄せください。

[chousa@counselor.or.jp](mailto:chousa@counselor.or.jp)

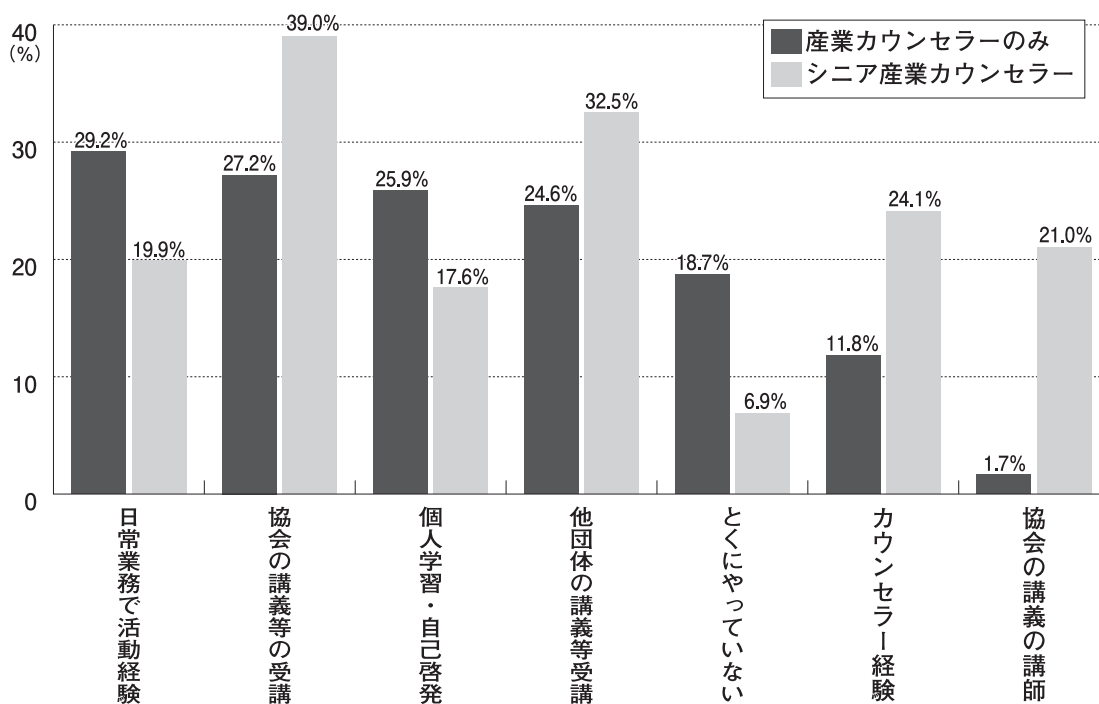


図4 スキル維持向上活動の内訳